

## モニタリング結果報告書

施設 藤野芸術の家  
 指定管理者 一般社団法人かながわ青少年協会  
 施設所管課 青少年課

(平成23年度 上半期)

## 管理運営状況総括

今期の指定管理者の管理運営状況（1～9の結果を踏まえ、判定してください）

B
---

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

## 1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考（確認事項等）
4月	5月10日	5月19日	月報により確認し、改善すべき業務等なし。
5月	6月10日	6月17日	月報により確認し、改善すべき業務等なし。
6月	7月12日	7月19日	月報により確認し、改善すべき業務等なし。
7月	8月12日	8月19日	月報により確認し、改善すべき業務等なし。
8月	9月12日	9月16日	月報により確認し、改善すべき業務等なし。
9月	10月12日	10月14日	月報により確認し、改善すべき業務等なし。

## 2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

## &lt; 提案内容の概要 &gt;

自然環境に恵まれた立地、工房、スタジオ、ホール、宿泊機能を備えた滞在型体験施設としての特性を活かし、青少年をはじめあらゆる世代が、自然体験や芸術体験を通じて、豊かな感性と創造性をはぐくむことができるよう、魅力ある体験活動事業として、次の各事業を実施する。

- 体験事業（陶芸体験、木工体験、自由工房でのガラス工芸体験等、音楽体験、自然体験）《常設》
- 学習事業（地域作家教室、美術基礎講座、音楽基礎講座、音楽芸術講座、アートテクニカルスクール）
- 創造事業（優れた芸術の鑑賞など）
- 活動支援事業（地域との連携事業、学校等連携事業など）

## <実施状況>

\*人数は参加者数

### ○体験事業

- 4月 木工 467名、陶芸 537名、自由工房 1,486名
- 5月 木工 802名、陶芸 1,055名、自由工房 3,395名
- 6月 木工 353名、陶芸 494名、自由工房 1,515名
- 7月 木工 1,157名、陶芸 898名、自由工房 3,868名
- 8月 木工 2,624名、陶芸 1,695名、自由工房 7,256名
- 9月 木工 734名、陶芸 659名、自由工房 2,539名

### ○学習事業

- 7月 地域作家教室「万華鏡作り」 30名

### ○創造事業

(10月実施予定)

### ○活動支援事業

- 4月 タケノコ掘り 25名、鯉のぼり作り体験 10名、地域芸術家の芸術小品販売
- 5月 藤野ぐるっと陶器市「陶器インフォメーション」、地域芸術家の芸術小品販売、
- 6月 地域芸術家の芸術小品販売
- 7月 地域芸術家の芸術小品販売
- 8月 カブトムシを捕る仕掛け作りとカブトムシ捕り体験 7名、地域芸術家の芸術小品販売
- 9月 地域芸術家の芸術小品販売

このほかに、学校等連携事業として、学校用工房体験メニュー、楽器デモンストレーションプログラム、舞台音響、照明デモンストレーション及び指導サポートプログラムを含む学校等の宿泊利用受入れを随時行った。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	180,001 (166,941)	119,655 (130,411)	40,700 (23,360)	19,646 (13,170)	180,001 (166,941)	0 (0)
4月	13,105	8,704	3,501	900	3,610	9,495
5月	12,684	8,698	2,122	1,864	9,591	3,093
6月	18,960	15,758	2,315	887	20,170	△1,209
7月	16,896	8,698	6,001	2,197	10,739	6,156
8月	19,935	8,698	6,564	4,672	14,087	5,848
9月	15,004	8,698	4,310	1,996	13,928	1,075
今年度 半期計	96,587	59,254	24,815	12,518	72,127	24,460
前年度 同期計	85,605	58,080	17,373	10,151	75,792	9,813

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。  
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。  
 ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。  
 ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

- ①③該当なし  
 ②収支差額が生じた主な理由は以下のとおり。  
 ○ 今期より、第二期（平成23年4月1日～平成28年3月31日）の指定管理者として一般社団法人かながわ青少年協会が運営を開始し、あわせてシーズン料金や県内・県外料金を導入し利用料金の改定を行った。  
 ○ 平成22年9月から平成23年3月まで、宿泊棟の外壁工事に伴い宿泊室の利用を休止していたため、9月の利用料金収入は前年実績（466千円）に比べ大幅に増加した。  
 ○ また、利用者ニーズを捉えた工房メニューの提供により夏季の工房利用者数が伸び、工房の利用者負担金収入が増加したため、これを含むその他収入が増加した。

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

県有財産の維持管理上必要な工事等で50万円以上（県有財産の維持管理上必要な工事等以外は100万円以上）の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状況をより的確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	4,188,156	宿泊棟内壁塗り替え工事(1,488,900円) エレベーター等改修工事(2,382,282円)ほか  ※付帯事業としてのレストラン部分に係る修繕費等(85,974円)を含む。
下半期		
総額	4,188,156	

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。  
支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。  
積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

#### 4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
4月	4,529人	4,907人	△7.7%
5月	10,235人	8,870人	15.4%
6月	4,994人	5,694人	△12.3%
7月	12,457人	11,703人	6.4%
8月	23,098人	21,201人	8.9%
9月	8,864人	3,943人	124.8%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	62,628人	64,177人	56,318人	2.5%	14.0%
今年度下半期計	人	人	人	%	%

#### 利用状況に関する意見等

①今年度上(下)半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。(特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。)

②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。

なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

#### <意見等>

①平成22年9月から平成23年3月まで、宿泊棟の外壁工事に伴い宿泊室の利用を休止していたため、今年度の9月の利用者数が前年実績に比べ大幅に増加したことが、今年度上半期の前年対比大幅増の主な要因である。

②該当なし

#### 5 苦情・要望等の状況

##### 受付件数(うち施設所管課受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	8(0)	8(0)
5月	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	6(0)	6(0)
6月	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	21(0)	21(0)
7月	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	3(0)	3(0)
8月	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	19(0)	19(0)
9月	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	5(0)	5(0)
合計	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	62(0)	62(0)

## 6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

（類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。）

分野	概要	対応状況
施設・設備	・特筆すべきものなし	
	・	
	・	
職員対応	・特筆すべきものなし	
	・	
	・	
事業内容	・特筆すべきものなし	
	・	
	・	
その他	・特筆すべきものなし	
	・	
	・	

## 7 事故や不祥事等の発生状況

（利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。）

該当なし

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

該当なし

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			
月 日			

9 上（下）半期の所見等

〔 1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持管理、運営に関する業務につき、計画通り実施した。</li> <li>・当初、震災影響と見られる宿泊等施設利用の予約キャンセルが相次いだり、ゴールデンウィーク期間や夏季の企画が好調で、工房やホール等の日帰り客が増加し、特に夏季の繁忙期においては、利用料収入及び利用者数ともに前年度を上回ることができた。</li> <li>・夏季の節電対策に取り組み、エリア別に空調を交互に運転するなど、利用者の健康に配慮しつつ、前年比15%削減の目標をクリアできた。</li> </ul>
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理業務を着実に推進している。</li> <li>・震災発生後の団体予約キャンセル等による利用者の減少や、電力不足による施設運営への影響などが心配されたが、工房での季節感を取り入れた期間限定メニューや、ホール等での夏休み企画により、日帰りでの利用者数の増加につなげており、今後も、施設の特徴を生かした魅力ある体験活動事業の展開を期待する。</li> </ul>